

土木学会 一般公開シンポジウム

わが国の洋上風力の促進と 長崎の海洋エネルギーの未来

主催：公益社団法人 土木学会 地球環境委員会
長崎大学 海洋未来イノベーション機構



撮影：西山芳一

土木学会地球環境委員会 政策研究小委員会の活動

7年前に発生した東日本大震災やそれに伴う福島第一原子力発電所の事故を契機に、再生可能エネルギーの普及拡大やスマートコミュニティの実証などエネルギー供給および利用側における様々な新しい取り組みが急ピッチで進んでいます。

そこで、このような再生可能エネルギーに関する新しい取り組みに土木がどのように関わっているのか、あるいは土木にどのようなことが求められているのかを考えていく機会として、2013年度より「再生可能エネルギー」に関する一般公開シンポジウムや特別セッションを開催してまいりました。

第21回地球環境シンポジウム 特別セッション (2013/09/17@仙台)

- 特別講演 「持続可能なエネルギー社会(自律・分散型社会)をつくる」
中田俊彦 東北大学大学院教授
- 個別研究発表 8件

第22回地球環境シンポジウム 特別セッション (2014/09/04@東京) 「新しいエネルギーシステムの構築に向けた土木の貢献」

- 講演3件 「再生可能エネルギーの最近の動向」
風力発電, 地中熱利用, 中小水力発電
- 話題提供3件 「木質資源利用」、「建設会社における取り組み」、
「再生可能エネルギーのポテンシャル」
- パネルディスカッション

第23回地球環境シンポジウム 一般公開シンポジウム(2015/09/04@札幌) 「新しいエネルギーシステムの構築に向けた土木の貢献(その2)」

- 第一部 「FITが北海道にもたらしたもの, これからもたらすもの」
- 第二部 再生可能エネルギー導入に向けた動向と土木分野の課題
- 第三部 北海道における再生可能エネルギーの開発・導入事例

第24回地球環境シンポジウム 一般公開シンポジウム (2016/08/31@東京) 「新しいエネルギーシステムの構築に向けた土木の貢献(その3)」

- 特別講演 「Hydropower and its ecological impact –case study from Iceland and Switzerland」 by Dr. David Finger
- 講演4件 「新たな海洋エネルギーの利用」、「洋上風力発電」、
「廃棄物処分場太陽光」、「空間情報技術の活用」

第25回地球環境シンポジウム 再生可能エネルギー・セッション (2017/09/06@神戸)

開催の趣旨

わが国の再生可能エネルギー導入の政策と洋上風力の促進の最前線について知るとともに、長崎の海洋エネルギー開発や産業拠点形成の先進的な取組について学び、今後の土木業界の貢献のあり方についてディスカッションを行う。

本日のプログラム

「再エネを主力エネルギーとする脱炭素社会実現に向けて
～最大のポテンシャルを持つ洋上風力を生かして～」

環境省地球環境局地球温暖化対策課 飯野 暁 前課長補佐

「拡大する欧州の洋上風力発電と日本の課題

（さらに長崎における養殖と洋上風力発電との共生事業の検討）」

長崎大学海洋未来イノベーション機構 織田 洋一 コーディネーター

「五島そだちの浮体式洋上風力発電」

戸田建設エネルギー事業部 佐藤 郁 副事業部長

ディスカッション「長崎の海洋エネルギーの展開と土木の貢献」

上記3名の講演者および

NPO法人長崎海洋産業クラスター形成推進協議会 坂井 俊之理事長